



速効性総合微量元素肥料

ミネヒロン

◎液肥として(土壤灌注)

◎元肥として(粉末のまま)

窒素	リン酸	加里	苦土	マンガン
8	10	8	5	1.50

ホウソ	鉄	銅	亜鉛	モリブデン
0.15	0.04	0.04	0.04	0.14

農林水産省登録 生第66042号

Ⓢ石灰硫黄合剤との混合は有毒ガスを発生する恐れがあり危険ですから混合は絶対にしないで下さい。

製造 販売元 ミネヒロン株式会社

特
約
店

世界の園芸王国、オランダから原料を輸入し、
製造された速効性微量要素肥料

エキヒロン

エキヒロンはアンモニア態窒素の外に速効性の硝酸態窒素を配合させ、リン酸は低温時でも実によく、葉や根から吸収され易いトリポリリン酸を使用しています。

エキヒロンは窒素、リン酸、加里の外、作物の成育に欠くことの出来ないマグネシウム、マンガン、ホウソ、鉄、銅、亜鉛、モリブデンが組み合わされ、味、品質を高めて行きます。

エキヒロンは全て水溶態ですので実に良く溶け早く効きます。

エキヒロンは連作による要素欠乏の解消や災害による生育障害を早く回復させます。

◎使用方法(10アール当り)

- 10アール当り1回の使用量は10kg(2袋)です。
- 1ヶ月に1~3回の割合で追肥して下さい。
- エキヒロンの溶かし方 容器に水を入れてから、エキヒロンを少量ずつサラサラ入れながら攪拌し、溶かして下さい。

①タンクを使用した場合

エキヒロン5kg(1袋)を1000ℓの水に溶かすと200倍液、エキヒロン5kg(1袋)を2500ℓの水に溶かすと500倍液、となり灌水パイプ等で追肥して下さい。

②自動液肥混入機による使用の場合

エキヒロン5kg(1袋)を20ℓの水に溶かすと4倍液となります。これを200倍液にしたい場合は調節つまみを50倍にしますとOKです。(500倍液の場合は125倍)

③粉末のまま使用する場合

定植床を作り、その表面に粉末のまま均一に3~4袋(15~20kg)を施し、十分に灌水してから定植して下さい。発根が旺盛で初期から生育が素晴らしくなります。

④葉面散布として使用する場合

樹勢を早急に回復させたい時や、要素欠乏の場合には500~800倍液の葉面散布による超速効性のトリポリリン酸や微量要素の働きにより効果がすぐ表われます。